

入試年度	2025年度入試	研究科	商学研究科
課程	修士課程	コース	経済学コース
入試期	1期	入試方式	全入試区分
研究分野(演習科目名)	経済政策(国際金融論)		
出題意図及び解答又は解答例 ※試験問題自体を公開しない場合はその理由			
出題問題	<p>国際金融のトリレンマとは何か。また、それがなぜトリレンマとなっているのかを論じろ。その上で、日本と中国がそれぞれ、このトリレンマのうち、どの政策選択をしているのか。また、なぜそのような選択を行っているのかも述べよ。</p>		
出題意図	<p>国際金融を学ぼうとする応募者に対し、国際金融論の基本的な理論を確認することを目的として、出題している。国際金融における為替・資本移動は、必須のテーマであり、これらの基本的な内容を確認することにより、本学大学院での学びに必要な基礎知識が身につけているのかを、本題を通じて、みることにある。</p>		
解答又は解答例	<p>本問題は論述式の筆記試験問題であり、解答は一義的でないため、以下に、採点時の基準や観点等を示している。採点にあたっては、以下の点を総合的に評価する。</p> <p>具体的には、①変動為替相場制度、固定為替相場制度についての記述があるかどうか。特に、固定為替相場制度における為替介入についての記述があるかどうか。さらに、②国際資本移動が自由なケースとそうではないケースについての記述があるかどうか。また、③自国金融政策が自由かそうではないのか。これら①～③の組み合わせで、2×2×2の8ケースが考えられるが、その各々についての記述があるかどうかを評価し、採点を行った。</p>		